

二 北陸地域ニ於ケル營業事務ニ關スル事項  
工務 係

一 工務ニ屬スル豫算差引ニ關スル事項

二 工務ニ關スル諸願届原案ニ關スル事項

三 發變電所、送電線路及附帶設備ノ運用、保守及改良ニ關スル事項

#### 第四章 係長及主任

第六十七條 係ニ係長、給電所及工事班ニ主任ヲ置ク

第六十八條 係長及主任ハ上長ノ命ヲ承ケ事務ヲ分掌シ所屬員ヲ指揮監督ス

### 第四節 會社運營業開始

かくて昭和十四年四月一日成立を見た日本發送電株式會社は、同日より直ちに會社の業務運營業を開始した。同日午後一時東京小石川の本社第一會議室に於いて、増田總裁は全社員に向つて左の如く訓示した。

日本發送電株式會社が逓信省御當局の異常なる御努力と出資電氣事業者各位の熱心なる御協力、更に設立事務所各員の晝夜を分たざる勉勵とに依りまして、極めて短期間に甚だしく複雑多岐に渉る設立並びに開業準備事務の一切を完了し、本日滞りなく重大使命を有する帝國最大の國策會社として設立且つ開業することを得ましたことは邦家のため衷心より喜ばしく存する次第であります。

申す迄もなく日本發送電株式會社は國家的見地に立ちて國內に包藏する全電力資源を最も有効に開發利用し依つて得ましたる豊富なる電力を可及的低廉に、國家の必要とする凡ゆる方面に配給し、以つて國家の存

立とその發展とに必要な産業の振興と國民生活の安定とに資せんとするものであります。随つてその經營方針は、國家最高の目的達成を第一義となすものでありまして、營利追及を最要の目的とするものではありません。故に等しく電氣供給事業であるとは申しまして、從來の個人主義的資本主義の下に組織し運營せられたものとは自からその趣を異にし、現時の異常なる國際政局の下に於いて我が國の最も緊要事とする國防國家の建設と、その完成に貢獻するところがあらねばならぬと存じます。この事は單に自らが左様であるばかりでなく常に他の各電氣事業を指導し、國策に順應して誤りなからしめない様に努力しなければなりません。

併しながら以上の如き極めて重大なる國家的事業としての目的を有する反面に本會社は又株式會社としてその事業の運營業を圓滑ならしむるに必要な程度の利潤を擧げなければならぬことは勿論であります。この相矛盾せるが如くに見ゆるものを適當に調和しつゝ、目的を達成する點に本事業經營者の最大なる苦心と努力とを要するものと思はれますが、これは適切なる開發建設と合理的なる電力配給、更に劃期的なる料金政策の徹底とによつて、必ず達成せらるゝものであると確信致します。

抑々この電力國家管理の如き試みは、我が國產業界に於きましては實に破天荒のことに屬しますので、當初の間は相當困難に遭遇するものと覺悟しなければなりません。その困難を突破し、國家及び國民の期待に背かざらんがためには、此の事業の經營に従事する者全部が一體となつて、滅私奉公の大努力を必要としますことは申すまでもないところであります。即ち從業者の全部が私心を去つて、一意國家に報ずるの覺悟を必要とします。これを換言致しますれば公益は私益に優先するといふ大精神に立脚しなければならぬのであります。實に電力の國家管理の精神はこの理念に基くものであります。随つて國家管理實施の機關たる日本

發送電株式會社の關係者中に不幸にしてこの精神に反するが如きものがあつたならば、我々は斷乎として排撃しなければならぬと思ふものであります。

不肖圖らずも今回この重大なる使命を有する日本發送電株式會社の總裁として、これが經營の責に任ずるの命を受けましたが、私の任や甚だ重く且つ大きく、微力一人の能く爲すところではありませぬ。幸に政府御當局の御支援と國民各位の支持と、更に全従業員の獻身的協力とに依つて始めて能くこの重責を完ふし得るものと念ひまするとき、こゝに斯業經營に練達堪能なる諸君を得ました事は私の最も意を強うするところであります。諸君に於かれましても克く電力國家管理の精神と當社設立の意義とを體得されると同時に、この際特に從來の因縁情實を一擲し渾然相融合し、以つて大目的達成のため邁進されん事を切望致します。

日本發送電株式會社がその目的を達成するや否やは實に我が國力の發展、文化の向上に影響するところ甚だ大なるものがあります。従業者全員に於いては一意國家に報ずるの覺悟を以つて事に當られんことを冀望致しまして、私の最初の御挨拶と致します。

而して日本發送電株式會社開業當時に於ける本、支店、出張所の管轄區域は左の如くである。

東 京 本 店

福島、茨城、栃木、群馬、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟（西頸城を除く）、長野（西筑摩、下伊那を除く）、静岡（富士、駿東、田方、賀茂）

名古屋出張所

岐阜、愛知、三重（南半婁を除く）、長野（西筑摩、下伊那）、静岡（富士、駿東、田方、賀茂を除く）

富 山 出 張 所

富山、石川、福井（三方、遠敷を除く）、新潟（西頸城）

大 阪 支 店

滋賀、奈良、京都、大阪、和歌山、兵庫、岡山、三重（南半婁）、福井（三方、遠敷）、鳥取（日野、西伯を除く）

廣 島 出 張 所

島根、山口、広島、鳥取（日野、西伯）

新居濱出張所 四國一圓

福岡出張所 九州一圓

## 第五節 開 業 式

日本發送電株式會社の開業式は昭和十四年四月十八日同社構内廣場に於いて舉行された。當日は天氣晴朗であり、萬物甦る陽春の氣は和氣霽々として會場に横溢し、非常時克服の重大使命を擔へる日本發送電株式會社の開業式に相應しい絶好の日和であつた。來賓として出席した朝野の名士七百餘名、同社々員を加へて參列者實に一千五百餘名に及ぶ一大式典である。定刻午前十時、式は同社總務部長岸田氏の開式の辭に始まり、君ヶ代合唱、宮城遙拜、出征將士並びに戦歿將士に對する一分間の感謝黙禱に次いで増田總裁の式辭、板垣陸軍大臣、田邊遞信大臣、平井出電氣廳長官、結城日銀總裁、伍堂東京商工會議所會頭、井上電氣事業者代表の諸氏よりの祝辭があつた。かくて十一時四十分閉式に引續き祝宴が開かれたが、開宴に先立ち同社を代表して増田總裁、來賓代表として元遞信大臣頼母木桂吉氏より一場の挨拶が行はれた。頼母木桂吉氏の挨拶は電氣廳長官の祝辭中日本發送

電株式會社の前途が決して安易なものでないことを力説された點に大いに共鳴されたものであつて、日本發送電株式會社法に對する議會の修正を遺憾とし、社員の奮起一番を切望される等、電力國家管理の生みの親としその切々たる言は聞く者をして襟を正さしむるものがあつた、盛儀を終へたのは午後零時三十分であり、終りに臨んで小川郷太郎氏の發音により同社の萬歳が三唱された。

#### 増田總裁式辭

本日茲に日本發送電株式會社開業の式を舉行するに當り、朝野貴紳の御來臨を辱ふするを得たるは弊社の光榮何ぞ之に若かんや、小職等洵に欣懷に堪えざるところなり。

曩に電力國家管理の議、久しきに亘り朝野を擧げて論議検討せられたることは周知の事にして今更贅言を要せざるところ、當時政府御當局に於ては國策の大議に則り、國論の歸趨を誤りなからしめ且つ其の實現の爲め異常の御努力を拂はれたると併せて電氣事業者各位の熱心なる御協力に依り、極めて短期間に於て甚しく複雑多岐に互る本問題を解決し、本年四月一日滞りなく本會社の創立を完了し營業を開始するに至れり、之偏に全國民の國策遂行の熱望支援に因るものと謂ふべく、邦家の爲め衷心御同慶に堪へざる次第なり。

惟ふに十九世紀の産業革命は機械の發明に依つて完成せられ二十世紀の夫は電氣に依つて成就せらるゝと稱せらる。

近時世界諸國に於て電力政策の確立に腐心しつゝある所以のもの實にかゝる時代の實相を反映せるに外ならざるなり。我國に於ては今日電燈は其普及率、世界第二位を占め、工業用動力も亦其の九割を電化せり。然雖全人口一人當の消費量僅かに世界の第九位を占むるの現状にして、歐米に比し遙かに及ばず、將來開拓の分野定に絶大と謂ふべきなり。今や電氣を外にして産業を語るべからず、況んや國民生活上に、國防上に

必須缺くべからざるのみならず之が低廉豊富に供給するを要するに於ては國家が之を統制し管理するは必然なり。

殊に今次支那事變究極の目的たる東亞永遠の安定を確保するに足る新秩序の建設には全國民擧げて肇國の精神を發揚し以て斯の聖業達成の光榮ある責務を敢行せざるべからず、即ち政治、經濟、文化等國家各般に互り國家總力の強化擴充を目的とする新面目を斷行するを要す。

茲に於てか日本發送電株式會社の創立せられたるは我國産業界に於ける破天荒の事に屬すると謂雖亦當然の結果と云ふべきなり。

乍去彌つて我社經營の前途を想ふに國策の一大使命を負ふて一面事業會社としての業績を擧げんとするは實に一大創造的努力と手腕とを必要とす。

不肖測らずも本會社總裁たるの命を受け其の責に任ずるに當り、全從業者相共に精勵鼓舞して國家國民の期待に添はんことを期すると共に、この光輝ある電力國家管理の下に産業翼贊の實を擧げんとす。

冀くはこの大業達成に對し政府當局並に全國民の熱烈なる御鞭撻と御支援とを賜はらんことを。些か所懐を述べて式辭とす。

昭和十四年四月十八日

日本發送電株式會社

總裁 增田次郎

#### 逓信大臣祝辭

(大和田逓信次官代讀)

日本發送電株式會社開業式の盛典に臨み、一言御祝辭を申述べます。

御承知の如く今次聖戰の究極の目的は我が建國の理想を顯現し日滿支三國一體と成つて東洋永遠の平和の爲め新秩序を打建てんとするに在るのでありまして、この重大なる非常時局に會し、大業翼賛の光榮に浴する當代の國民、我々の責務は實に重且つ大であると言はねばなりません。而して此の時に臨み、よく臣子の本分を盡すべき所以の途を辨ふるに、所詮は、大なり小なり各人が夫々の立場に於て、自己の職責を果して遺憾なきを以て盡きるのでありますが、とりわけ國防の兵站部たる國內産業經濟に對して、例へば人體に於ける血となり肉となるべき基礎を供給し、神經若は動脈の働きにも譬ふべきの重大責務を荷ふ日本發送電株式會社の任務に想到する時、私は本會社に職を奉ぜらるゝ諸君に對して先づ時局の認識を正し、本會社がかゝる時艱の折に於て幾多の難關を突破し大なる國家保護の下に設立せられたる所以を悟り而して其の課せられたる任務を覺認し、光輝ある業務の運営に全能力を傾倒し不退轉の努力を致されんことを切望せざるを得ないのであります。

支那事變も漸々新しき段階に進み、長期建設の時代を迎ふるに至りましたが、戰の深刻さは寧ろ今後にありませう。私は此の場合御列席の各位、否全國民と共に國運の消長に至大の關係を有する本會社が文字通り我が國全電氣事業界の明星となり、電氣廳と協力一致、電力國家管理の大道を颯爽として全國の電氣事業を統率、邁進せらるゝ今後の姿を想見して極まりなき歡喜を覺ゆるのであります。この歡喜を現實ならしむることこそ、實に關係官民、特に會社當局に授けられたる崇高なる責務でなければならぬと存じます。終りに臨み心より本會社の限りなき發展の前途を祝福する次第であります。

昭和十四年四月十八日

遞信大臣 田邊治通

### 陸軍大臣祝辭

(西村陸軍政務次官代讀)

電力の重要性は今更喋々を要せざる次第にして陸軍に於ては特に時局上軍事輸送及軍需動員並生産力擴充等の爲極めて重要視する所なり。

今次發送電會社の設立を見るに至れるは叙上の國防目的を達成する爲極めて適切なる措置にして衷心慶賀に堪へず將來一層電力の運用其の宜しきを得て一路目的の達成に邁進せられんことを望む。

昭和十四年四月十八日

陸軍大臣 板垣征四郎

### 電氣廳長官祝辭

本日茲に日本發送電株式會社の開業式が舉行せらるゝに當り一言祝辭を申し上げますことは私の甚だ欣快とする所であります。

時恰も帝國未曾有の緊迫せる時局に際會し速に生産力の擴充を圖り以て國防の完璧を期せざるべからざる秋産業の基礎として國運の消長に至大の關係を有する日本發送電株式會社の誕生を見ましたことは其の意義極めて深く邦家の爲御同慶に堪へぬ次第であります。

而して電氣廳と日本發送電株式會社との關係は譬へば車の双輪の如く二にして一體をなす不可分の關係に在るは改めて申し上げる迄もありません。

即ち電力設備の建設計畫、電力の配給方法乃至電力料金の決定等は政府が之を擔任し日本發送電株式會社

は之に要する資金の調達、電力設備の建設又は運轉等に創意を發揮し、國策の目的達成に協力するといふ國家管理の仕組から見ましても、電氣廳と本會社との間には僅かの隙さへも容れる餘地は無いのであります。まして支那會社と政府は未來永劫手を携へ胸襟を披いて所期の目的に向ひ邁進せねばならぬのであります。まして支那事變も新東亞建設の新しい段階を迎へ國民の總親和、總協力を最も必要とする今日、殊に豊富低廉なる電力の供給を確保して産業の興隆、國民生活の安定を圖り、國防の充實に貢獻せねばならぬ吾々に於て特に然りと云ふべきであると思ふのであります。而して吾々に課せられた任務が極めて重大であると同時に其の目的達成の途が決して坦々たる安易なものではないことも此の際充分覺悟を固めて置く必要があると信ずるのであります。

例へば生産力の擴充計畫に呼應し産業の原動力を爲す電力の増産は極めて緊急を要するのであります。之に要する資材の調達は仲々容易ではないのであります。

又諸物價の昂騰は豊富低廉を目標とする本會社の使命に照し其の經營に當る諸君に對して一層の努力を要求するものと考へらるゝ如きであります。而も尙、私は諸君に向つて、不撓不屈、電力國家管理の目的に勇往邁進せられんことを切望せざるを得ないのであります。戰爭に勝つか、負けるかの二途あるのみであります。光輝ある歴史を擁する吾々は如何なる難局に立たうとも之に打ち勝たなくてはなりません。勝ち抜くことによつて始めて第三國の野望を抑へ、東洋永遠の平和が確立されるのであり、勝たんが爲には先づ生産力の擴充を必須とする事を考へるとき、電力國家管理、延いては日本發送電株式會社の使命の重大さがあると思ふのであります。而して私は諸君の卓越せる才能と豊富な體驗とが必ずや本會社の使命を遺憾なく果される事と確信する者であります。

本會社の記念すべき開業式の舉行に際し社運の隆盛と諸君の御健闘を祈つて私の祝辭と致します。

#### 日本銀行總裁祝辭

電氣廳長官 平井出貞三

本日、日本發送電株式會社の開業式を舉行せらるゝに當り、一言、祝賀の意を表する機会を、與へられた事は、私の最も欣幸とする所であります。

我が國の電氣事業は、一般工業の殷盛に伴ひ、近年長足の進歩を示したのであります。重要なる基礎産業として、戰時體制の整備と共に、之が國家動員を容易にし、全體的に之を綜合調整する事が、一層必要と感ぜらるゝに至つたのであります。仍ち、電氣事業の國家統制を更に鞏固ならしむる爲め、當會社の設立が計畫せられた所以でありまして、時局の益々重大ならんとするに際し、各電力會社を首め、各方面の協力に由り、廣汎多岐なる諸般の準備を、克く短時日の間に完了し、芽出度く當會社の開業を見るに至りました事は邦家の爲め、洵に慶賀に堪へぬ次第であります。

申す迄も無く電力は産業動力の根幹を爲すものでありまして、殊に、我が國に於ては水力の利用を中心とし、其の豊富低廉なる供給に依り、各種産業の發展に寄與して來たものであります。今後は勞働力の不足を補ふ爲め、之に代るべき動力を圓滑に供給し、生産原價の低下、延いて一般物價の引下に資する事は、洵に適切な事であり、之が爲めには、専ら當會社の活動に依り、水力資源の開発、設備の綜合的運營、各種産業に對する電力需給の調整等、充分に國策的要求に應ぜらるゝ事が望ましいのであります。政府に於ても此等の必要に鑑み、當會社に對し、其設立に付、多くの支援を與へ、又利益配當の保證、社債元利拂の保證等、各種の特典を賦與し、極力其の發達を期して居らるゝのであります。

而して當會社は今後其の發展に連れ、漸次巨額の資金を必要とするものと考へられるのでありまして、金融界としても、シンデケートの結成等に依り、資金上充分協力せらるゝことは勿論と思ふのでありますが、日本銀行と致しまして、臨時資金調整法の運用、其他の施設を通じ、此の點に關しては出來得る限り便宜を圖り度いと考へて居ります。

今や電力界の根本的編成換の時期に當り、之が指導的立場に在る當會社の責務は特に重大なるを思ふのであります。其經營が圓滑適正を得るや否やは、非常時に於ける生産力擴充の成果に至大の影響を及ぼす譯であります。當會社の總裁を首め各役員の方々に其の人を得ました事は、大に意を強うする次第であります。幸に電氣事業の総合的且能率的運営に依りまして、時局下に於ける國家の總力發揮に付、充分貢獻せられん事を切望して止まぬ次第であります。

昭和十四年四月十八日

日本銀行總裁

結 城 豊 太 郎

#### 日本商工會議所會頭祝辭

(桑原日商總務部長代讀)

本日茲に日本發送電株式會社の開業式を舉行せらるるに當り、一言祝辭を呈する機會を得たるは予の最も欣快とする所なり。

惟ふに、電力は常に重化學工業のみならず廣く中小産業の最も重要な原動力にして、此の價格を低廉にし其の量を豊富にし、之が普及を圓滑ならしむる爲、電力の國家管理を圖ることは我が國朝野の待望久しかりし懸案なり。然るに過般政府の管理に屬する發電及送電の事業を行ふ目的を以て、日本發送電株式會社を

創設し、我が國發送電事業を統制する一大機關たらしめたるは、洵に邦家の爲慶賀に禁へざる所なり。今や東亞經濟協同體建設の第一年に際會し、大に我が國力を擴充し、所期の目的に邁進すべきの秋なり。此の時に當り、各種産業發展の原動力たる電力の豊富低廉なる供給を策し、以て生産力の擴充貿易の振興低物價の維持等の國策の實現に寄與すべき本會社の設立を見たるは、最も其の時機を得たるものにして、朝野を擧げて本會社の活動に刮目して期待しつつある所以なり。

希くは役員各位は國策の一環を擔ふ本會社の使命を自覺し、和衷協力克く所期の目的を達成せられんことを。

一言蕪辭を陳べて祝辭と爲す。

昭和十四年四月十八日

日本商工會議所會頭

伍 堂 卓 雄

#### 電氣事業者代表祝辭

電氣の國家的重要性は國民生活の必需たり、産業の基礎たるに在るのみならず、亦、急迫せる現下の情勢に於て特に國防の充實生産力の擴充が電氣の確實にして豊富、低廉にして普遍的なる供給に俟つべき所切實なるものあるによる。

昨春電力國家管理に關する大方針決定せられてより以來、官民緊張裡に僅に一年にして諸般の準備を完了し、去る四月一日を以て劃時代的な電力政策は實施せられ、茲に國民待望の裡に日本發送電株式會社の設立を見るに至りしことは、從來國策に順應し、政府と協力し來れる我が電氣關係事業に従事する者の皆齊しく慶賀に堪えざる所なり。

惟ふに電氣供給を確保し、以て國民經濟の發展に寄與すると共に戰時體制に即應し動力動員を容易且つ迅速ならしむるは眞に刻下の急務なり。今や皇軍大陸を席捲し威武中外に遍きに當り、銃後經濟の第一線を擔ふべき重大任務を與へられたる日本發送電株式會社は益々その光榮ある責務を自覺し國家目的の遂行に努力せられ、以て能く國民の期待に應へられんこと、吾人の信じて疑はざる所なり。本日日本發送電株式會社開業式に當り大に其前途を祝福し、聊か微衷を披瀝して慶祝の辭と爲す。

昭和十四年四月十八日

井上敬次郎

(終)

昭和十七年八月二十二日印刷  
昭和十七年八月三十日發行

電力國家管理の顛末

【非賣品】

編纂者 東京市麴町區大手町二丁目  
電氣廳

發行者 東京市小石川區小石川町一ノ一十一  
日本發送電株式會社  
池尾芳藏  
東京市神田區西神田一ノ九  
大島秀一

印刷者 東京市神田區西神田一ノ九  
太陽印刷株式會社  
印刷所 (東京四五)



39



終